

医工連携イノベーション推進事業（地域連携拠点自立化推進事業）
事後評価結果

1. 研究開発課題名 : 広域的なインフラや地域資源を活かした中国・四国地域連携ハブ拠点の運用推進事業
2. 研究開発代表者氏名（所属） : 徳増 裕宣（公益財団法人大原記念倉敷中央医療機構）

<評価コメント>

医療機器開発における中四国地域の連携ハブ拠点となることを目指した取り組みをすることで、多岐にわたり設定した数値目標の大半を達成しており、次世代医療機器開発拠点として活動中の3大学（岡山大学、広島大学、鳥取大学）や大阪商工会議所との連携を進めている点について高く評価できる。今後、拠点としての活動が事業として自立するための運営体制を検討されたい。

以上